

平成29年度 第4回草津市食育推進計画策定委員会		
日時	平成30年2月21日（水）午後1時30分～3時00分	
会場	市役所5階502会議室	
出席者	委員	戸崎委員長、酒井副委員長、海老委員、川口委員、宇野浩一委員、宇野満寿美委員、竹村委員、義川委員、西田委員、木村委員、喜田委員、株本委員、柳澤委員、草川委員〔計14名、順不同〕
	事務局	健康福祉部長・西典子、副部長・小川薫子、健康増進課長・田中みどり、同課参事・奥谷幸生、同課専門員・田中亜紀、山岡道子、同課主査・田中優佳、同課管理栄養士・吉澤世莉香
欠席者	委員	山本委員、伊吹委員、角垣委員、加地委員〔計4名、順不同〕

（戸崎委員長）皆さん、こんにちは。寒い中どうもありがとうございます。

本日は委員会開催に当たり、円滑な議事進行につきまして、委員の皆様方の御協力をよろしくお願い申し上げます。

次第1）第3次草津市食育推進計画パブリックコメントの結果について事務局から説明。

（委員長）本日の最終計画案を市長への答申とさせていただきます。何かございますか。では、よろしくお願いします。

次第2）今後の計画実施における食育の推進について事務局から説明。

（委員長）ただいまの説明を受けまして、質問等はございませんでしょうか。

これまで4回にわたり、皆さんの御意見をもとに、第3次草津市食育推進計画を作り上げました。

さて、次に、計画書の43、44ページを開けてください。第7章の食育の推進に向けてこちらに記載していますように、全ての関係団体がそれぞれの役割を持ってネットワークを構築、連携し、取り組みを進めていくこととしております。それぞれの立場で、現在の取り組みや今後の方向性、予定している取り組み、他とのコラボができる取り組みなどについて、御紹介いただき、今後の計画推進のための連携につなげていきたいと考えております。本日は限られた時間ですので、一人1、2分でお話いただきたいと思っております。では、事務局からよろしくお願いします。

（事務局）資料1、32ページに第6章食育推進の施策展開として記載しております基本理念「ココロ豊かにカラダ元気に 食で育む笑顔があふれるまち草津」の達成を目指し、3つの基本方針を定め、暮らし、ささえる、つなぐ をもとに施策を展開していくこと、それぞれの方針の推進のために、さまざまな事業を実施していくことを計画書にも記載しています。市民の皆様が食育を実践できるような事業展開については、子どものころから、日々の生活の中で市民の皆さんに自然に食育が浸透し、実践していただけるよう進めるもの、より食育に関心をもってもらえるような働きかけをしていきたいと考えています。行政だけでなく、市民の皆様を初め、関係機関、団体等連携して、その連携や協同も推し進めていきたいと考えています。

御意見をいただいて、取り組みを本年度から始めている内容の1つに、県の健康づくりサポーターの申請の推進をきっかけに、健康づくりの取り組みをしているところや、取り組みをしていきたい販売店や飲食店などとの連携も始めております。その場所でのヘルシーメニューの提供や、情報発信を今後実施してもらえるように依頼しており、店舗を増やしているところです。

また、ホームページの充実や、今年度も料理レシピサイトを活用した情報発信を行っていきます。ヘルシーメニューに関しては、現在までに御協力いただいているレシピの他に、飲食店や関係団体にも相談しながら増やしていきたいと考えており、地産地消を進めることも考えています。

健康づくりの取り組みをしている情報発信の場所となり、市民が自然と情報を学び、実践できるような健康づくりを進めていきたいと思っております。

個々に掲載している事業も、単独ではなく、関連や協働を図れるものはそれぞれの事業がよりよく進むように進めていきたいと考えています。

行政からの取り組み予定については以上です。

(委員長) ありがとうございます。では、意見を述べたい方もおられると思いますので、所属名と取り組み内容について順番に発言していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

(委員) 保育所では食育は大事にしており、取り組みとしては、保護者の方に朝食をしっかりとってもらうよう啓発しています。子ども達にも朝ごはんをしっかりと食べましょうということや、保護者の方に出していただいた朝食レシピを共有し、簡単に栄養が摂れるような取り組みを啓発しています。

そして、保育所では簡単に作れる煮物や野菜を多く使った簡単なレシピをクッキングという形で保護者向けに年1回は取り入れていきたいと思っております。保護者の方に給食の試食もしていただき、実際に給食を食べてもらうことでお家でも実践してもらえるよう取り組んでいます。最後に、保育所では畑で自分たちが苦労してつくった野菜を食べることで、嫌いな野菜を克服できるような取り組みも行っていきたいと思っております。

(委員長) 今回、皆さんに聞いたことを踏まえながら、意見交換をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

(委員) 草津市の健康推進員の活動は、乳幼児から高齢者の方までの健康づくりという形で行っており、栄養、運動、休養、生きがい、健診の5本柱の健康推進があります。その5本柱で活動していますが、特に糖尿病予防や、野菜を350グラム摂りましょうといった啓発を行っています。市民の皆さんに何歳になっても元気で過ごせるよう、地域に密着した活動を日々続けていこうと思っております。今後も地域に密着した活動を続けることになりませんが、最近では、健診という言葉が活動の中に入れて取り組みたいと思っております。

以前他の会議に出席した際、健診の話の中で歯の健診について話が出ました。歯も1年に1回は健診を受けたほうが良いということに気付かされたので、今後体の健康の健診やお口の中の健診についても活動していきたいですし、やはり健康推進員は調理実習を主に行っておりますので、地域の皆さんに体に良い食事をしていただけるような活動をしていきたいと思っております。

最後に、地域で活動する健康推進員が減少していますので、健康推進員になりたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひ御紹介くださいますようお願いいたします。

願います。

(委員長) ありがとうございます。以上でよろしいでしょうか。

(委員) 一市民ですが、発言してよろしいですか。

(委員長) どうぞ。

(委員) この委員会に参加させていただいてから、近所の人や子どもが同じ小学校に通っているお母さんの集まりがあった際、食育委員会で話した内容を報告することで、草津市の事業を初めて耳にする人や口コミで広がることあることを知りました。子ども達からは、小学校の給食だよりについて、学校の栄養士さんが栄養についての話をしてくれたことを聞きました。

先日の会議でもお話をしましたが、市内のスーパーで売られている商品に、1人あたりの摂取量が表示されているといいなと思いました。これからも子どもと一緒に食について学んでいきたいと思います。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) グルメ好きな方がいらっしゃると思いますが、そういう方とつながりを持ち、たくさんネットワークを広げていきたいと思っています。この時期は、味噌作りがあるのですが、老若男女が先輩方の話を聞いて味噌作りをします。様々な活動をすることで、つながっていったらと思っています。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) この間、ボランティアで参加し、いろいろなことを勉強させてもらいましたので、今後も、活動の機会を設けたいと思います。いつか、町内会の集会所を借りて高齢者の方を対象としたカフェを開きたいと考えています。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) 保育園や幼稚園にあがる前の子どもを対象に、育児サークルをしていますが、月に2回料理教室を南草津と野洲で実施しています。地域によって、実施内容は様々ですが、自分の手の届く範囲で少しずつ形成していきたいと思っています。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) 草津市まちづくり協議会では、セラバンドや百歳体操などをしており、来られた方にレシピなどを配付できるんじゃないかと思いました。食育に関心が薄くなっているので、健康に関心を持ってもらえるようなイベントや啓発をしていかなければいけないと感じました。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) P T Aは、単年度組織のため年度ごとに事業は変わりますが、毎年好評なのが給食の試食会です。小学校のP T Aに関しては、給食の試食会は今後も開催できると思います。そして、学校の先生方には子どもたちが試食や調理に対して興味をもってもらえるような事業を行ってもらえるように働きかけていきたいと思っています。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) 保健所では、県が健康づくりサポーターという制度をつくり、現在、飲食店へのアプローチを行っています。ヘルシーメニューや、栄養成分表示をしているお店に訪問し、活動内容を確認して、サポーター登録をお願いするという活動を行っています。

今後は、栄養成分表示の仕方がわからないお店やお話を聞きたいけれど

どうしたらいいかわからないお店へのアプローチを行っていく検討をしています。

働き盛り世代への働きかけとして、給食施設指導という形で各企業の社員食堂の栄養管理や、衛生管理の支援を行っています。今後も総務の方や、従業員の健康づくりに携わっている方に同席いただき、企業の健康づくりの取り組みについて聴取し、保健所としてできることを支援したいと思えます。企業へのメーリングリストを持っていますので、食育だけではなく、健康づくりについての情報を今後は発信していきたいと思っています。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) 企業の従業員が健康でなければよい会社ではなく、生産性が向上しないとされていますが、日本商工会議所でも企業や従業員の健康やメンタルヘルスについて啓発活動をしています。

商工会議所でも様々な企業と関わりがありますが、健康経営を目指していけるような啓発ができるよう取り組みたいと思います。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) J A草津市としては、地場産業について取り組んでいこうと考えています。地場産業野菜は、数年前からスーパーなどに地元の野菜を置いています。

農家の方が作った野菜を販売だけでなく、食育に関するチラシなどを設置していけたらと思います。

また、現在も市とコラボしながら、就労体験や食の教育についての活動をしています。定員に限りがありますが、J Aとしてお手伝いできることを進めていきたいと思っています。

(委員長) ありがとうございます。

(委員) 来年度から食マネジメント学部というものができますので、スポーツ健康科学部とともに一体化させて進めていくべき事業と考えています。

もう一つは、健康都市宣言をされたことで、市の事業を次にどうつなげていくのが課題になってくるかと思っています。学生も食育を学ぶことでつなげていくことができると考えています。

(委員長) 食育に弱い歯科医は多いですが、食育を考えている歯科医は治すことよりも予防を考えています。歯科衛生士さんと共に、子ども達には歯の大切さを教えて、歯を失ってしまった成人には食べる機能を回復させるよう治療します。委員からいろいろな御意見が出ましたので、意見交換の時間を設けたいと思います。何か御意見はございませんか。

(委員) お伺いしたいのですが、昨年ぽかぽかタウンと農協でタイアップして芋掘りと焼き芋をされたと思いますが、今年もされる予定はありますか。

(委員) あおばな館の前で実施します。体験だけでなく、チラシを渡しながら豆知識を伝えていけたらと思います。

(委員長) 他に御意見などはございませんか。

(委員) よつといで新聞というのを発行していますが、草津ブランドの話が出た際、匠の夢のお米を掲載することになりました。匠の夢のお米は、あおばな館にしか売っていませんか。

(委員) 希少価値の高いお米の為、あおばな館と農協の本店で購入できます。

(委員) 何人かの農家さんが作っているだけなんですよ。

- ( 委 員 ) 9名で作っており、今年それが通ったのが2名で株が少ないため、30俵になります。コシヒカリは食味が85%以上という規定があり、9人の農家さんが頑張って作っていますが、なかなかとれないお米のため、あおばな館で特別に売っています。
- ( 委 員 ) 役員が近くのスーパーで売ってなかったと言っていたので、あおばな館で購入したそうです。みんなで食味しましたが、草津ブランドでPRしているのに、近くのスーパーで手に入らないので残念だなと思いました。
- ( 委 員 ) 希少価値が高いお米のため、草津全般に広めるには規定や販売数が少ないということもあるため難しいのが現状です。もし購入したい方がいましたら、あおばな館を紹介してください。今回のご意見も踏まえながら、販売につなげていきたいと思えます。
- ( 委 員 ) 匠の夢を草津ブランドと紹介していても、みずかがみと勘違いしている人もいますので、お米についての紹介と希少価値をPRしたらもっと皆さんに知ってもらえると思えます。
- ( 委 員 ) ありがとうございます。
- ( 委員長 ) ありがとうございます。他にございませんか。
- ( 委 員 ) 匠の夢やみずかがみをプレミアムをつけて高くするのもいいですが、みんなが買いやすい物や値段、そして安全なものを食育として進めていく。安い物は輸入物が多く、添加物が多く含まれていますよね。現在、輸入戦略の勢いでプレミアムをつけて、日本の物を売ろうとしています。私達は地産地消と言いつつ何を一体買って食べたらいいのでしょうか。産地という割には少なくなっているんじゃないかなという気がします。
- 匠の夢は食べてみてどうでしたか。
- ( 委 員 ) お米を洗った方が、小さい粒かなと思っていたのに、炊き上がるとふっくらしていて、粒が大きくなった気がすると言っていました。
- ( 委 員 ) 比較してないからわからないですよ。
- ( 委 員 ) それだけしか食べてないです。
- ( 委 員 ) 地場産の宣伝をするのはいいですが、私も食べたいなって思いますよ。
- ( 委 員 ) そうですか。
- ( 委 員 ) 食べたいと思います。
- ( 委 員 ) 匠の夢だけを売りたいのではなく、草津ブランドとして紹介させていただきました。
- ( 委員長 ) ありがとうございます。
- ( 委 員 ) クックパッドの現在の状況について教えてください。
- ( 事務局 ) アクセス数は地域が限定されませんが、12月、1月は、1万5,000アクセスを超えているような状況です。新しいレシピを載せると1週間ぐらいは急上昇し、1週間ぐらいは毎日1,000アクセス閲覧されています。レシピを見た方から、作ってよかったというコメントをいただいています。
- ( 委 員 ) 利用方法や質問はどうですか。
- ( 事務局 ) 実際に作ってみて、好評でしたというようなコメントや、お鍋でお野菜を茹でてというようなレシピを掲載しましたが、電子レンジの方が手軽でしたというようなコメントがありました。

- ( 委 員 ) この間、a i 彩ひろばに行ってお昼を食べましたが、草津市の野菜が使われていませんでした。草津の名所で草津野菜のPRをしたら良いのにと思いました。
- ( 委 員 ) PRの営業はさせてもらっていて、1、2件程草津野菜を使っている店があります。
- ( 委 員 ) d e 愛広場ではなくて、a i 彩ひろばにPRされていますか。
- ( 委 員 ) まだですね。
- ( 委 員 ) 野菜を買いたい方はあおばな館に行きますが、草津にこんなところがあったと行った際に草津野菜が食べられたら、野菜をわざわざ買いに行かない人でもPRできるから良いのにと思いました。
- ( 委 員 ) そうですね。
- ( 委 員 ) 市の主な事業の環境学習教材貸出事業とありますが、子育て支援センターから冊子をいただくまでそんな事業があるなんて知りませんでした。あまり借りていませんが、もう少しPRした方が良いと思います。
- ( 委 員 ) 初めて知りました。
- ( 委 員 ) 小学校の子どもは喜んで結構やりますよ。
- ( 委 員 ) 大体の物は、市で持っていますよね。
- ( 委 員 ) 種類は多いですが、人気がある物は他のイベントとブッキングすると借りれないかもしれないので、3カ月前から借りています。あまり知られていないようですので、事業についてのPRをお願いします。
- ( 委員長 ) 他に御意見ございませんか。
- ( 委 員 ) 平成32年に中学校の給食がまた始まるそうですが、食育や食の大切さについて教育することは難しいですか。
- ( 事務局 ) 中学校給食は今後始まりますが、恐らく幼稚園、保育園、こども園から順番に小学校、中学校と順番に給食は続きますので、現段階では中学校は途切れています、それぞれの段階に応じた食育の教育をされると思います。
- ( 委員長 ) 歯磨きもですね。
- ( 事務局 ) 歯磨きも各々でやっていると認識しています。中学校はやっていませんね。
- ( 委員長 ) 中学校は途切れていますよね。
- ( 事務局 ) そうですね。
- ( 委員長 ) ありがとうございます。草津保健所の企業の栄養管理は、どれぐらいのパーセンテージですか。
- ( 委 員 ) 社員食堂がある所に対して、どういった栄養管理をされているのかお話を伺いに行きます。栄養士が栄養管理されている企業が直営でしている所が無いに等しく、給食会社が入っている所が殆どです。給食会社の栄養士が常勤でおられて、毎日栄養士が管理している所もありますし、献立だけをもってきて、それを調理員さんが調理している企業もあります。企業によって様々なので、パーセンテージはまだ出したことがないのでわかりませんが、企業によってはヘルシーメニューや栄養成分表示を出していたり、栄養バランスの取れたメニューを出されたりしている企業もあれば、定食2つだけで、選べなかつたりと、取り組みの差が結構あるなというのが実感としてはあります。

(委員長) 後々、食の偏りや摂り過ぎというようなデータができますよね。

(委員) そうですね。どのようなデータを取るかにもよります。年に1回栄養管理報告書を保健所に提出してもらっていて、100食を超える企業は1日の食事のエネルギーや、塩分、野菜量をどれぐらい使っているのかを出してもらっているの、それをまとめたものはあります。どのような年代の男女が多いのかということも踏まえた給食を作っているのか、そうではなくて、本当に趣向を考えて給食を作っているのかというようなデータや、給与栄養目標量を食べているかということですが、実際好むデータは取ることができます。

(委員長) 変わってきたなというのがわかりますね。

(委員) 健康づくりについて取り組みを進めたいと思われている企業は増えていると思います。

(委員長) ありがとうございます。

(副委員長) 栄養士は、各小学校に1人いるわけではないです。現在もセンター給食なので、センターに栄養士が何人かいるのと、3校か4校に1人ぐらい栄養士が学校栄養職員として働いていますので、授業で回る場合、年に1学年に1回回れるか回れないかぐらいです。もし、栄養についてお話をご希望でしたら、地域活動をしている栄養士がいますので、御希望があればお話をさせていただきたいと思います。

(委員長) 他に御意見ございませんか。

(委員) 草津総合病院は、様々なドクターや、栄養士、歯科衛生士を総合病院の事業として派遣していますので、そういった機関があることをお伝えしておきます。

(委員長) ありがとうございます。いろいろな御意見が出ましたね。

(委員) 先程保健所の栄養士からいただいた、パナソニックが社員食堂でTable for twoという取り組みをしています。Table for twoとは、先進国が過剰な食事によって、非常に生活習慣病等になりやすいことと、逆に飢餓もある情勢の中で、そのアンバランスをどうとるのかということで、ヘルシーメニューを食べることによって、一部の資金がアフリカの給食に回るようなシステムをつくっています。そして、何か社会的な意味ということを入れたら、厚生労働省、国、県という形でつながっているものとは別の価値観というものその市独自でつくっていくということができないかなと思います。草津市は、色々な取り組みを積極的にされていますし、一定の地域の中ということを考えれば、非常におもしろい取り組みができる土壌のような気がします。クックパッドや減塩給食に関してもそうだと思いますので、食育もうまく取り入れられないかなと思います。

中学校給食の実施検討委員会の委員長をやらせていただきましたが、学校給食は、生徒と保護者だけの問題ではなくて、市民全体の問題として考えるべきだろうという議論になりました。その中で、何を求めているのかといったときに、広報委員やPTAの方々がおっしゃったのが、小学校の給食に対する評価が高いということだと思います。実績のある市なので、学校給食においても、後から始まる中学校給食だからこそ、取り組みをつな

げていきながら、何か新しい取り組みにつなげていく可能性は高いのかなと思いました。

(委員長) 他にございませんか。

(事務局) それぞれの取り組みをお伺いして皆さんから御意見が出ていますが、色々なところがつながることにより素晴らしい事業になると思います。皆さんに集まっていますので、何か御提言がありましたら、つながりたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

(委員長) 色々な御意見が出ましたが、市民に限定すると知らないことが多いと思います。年代別に教えて自立した際それが活用できるように、いろいろな世代にメッセージを発信していくべきだと思います。そうすることで楽しく過ごせる日々が増えると思いますので、もっと委員やメンバーが増えて、食育の活動や、発言のありました社会的な背景をもつて行うことも食育だと思いますので、無知で一生を過ごすのはもったいないと思います。答えが出そうで出ませんが、今後懇話会で新たに御提言があれば各団体から報告していただいて掘り進めたいと思います。

歯科医師も、予防や食べることについて話すことがメインになりつつあります。治療ありきは昔の時代ですし、歯医者さんも考えているなどという目で見ただけならと思います。色々な人と接して新しい御意見を出して欲しいと思います。

次第3につきまして、事務局から何もないようですので、以上をもちまして、第4回草津市食育推進計画策定委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。

(事務局) 御議論いただきまして、ありがとうございました。

本日の最終計画案について審議いただきましたことから、当策定委員会の皆様につきましては、任期満了となります。

これまで1年間、計4回に渡り、第3次草津市食育推進計画の策定について、御協議いただきありがとうございました。

今後は第3次草津市食育推進計画をもとに、食育の推進に努めてまいります。今後も皆様の御協力をお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。